



№230

平成4年6月20日発行
発行所 瀬戸町役場
☎0894(4)52-0111
〒796-05 愛媛県瀬戸町三机
編集 企画課

アンケート

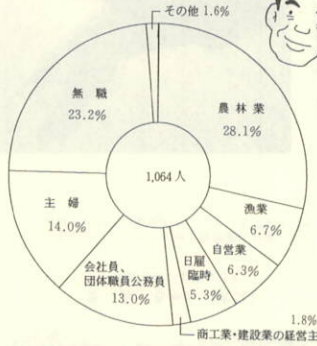
集計報告

町総合振興計画策定

— みんなの声を
反映させて —

私たちのまちを住みやすく、魅力あるまちにするために「瀬戸町総合振興計画」を策定しておりますが、今回、皆様に生活環境、教育、文化、福祉、産業振興、余暇活動などについて、アンケートしていただき計画の次のとおりです。紙面の都合上一部分の掲載とさせていただきます。

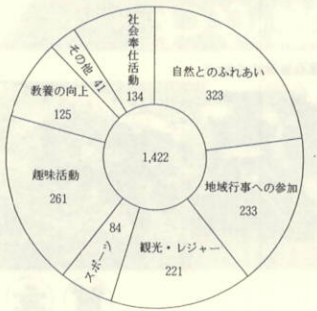
*あなたの主な職業は次のどれに該当しますか。



*教育文化の振興のためには、どのような施策が必要と思われますか。(2つ選んで下さい)



*あなたは今後どのような分野が特に志向されていくとお考えですか。(2つ選んで下さい)

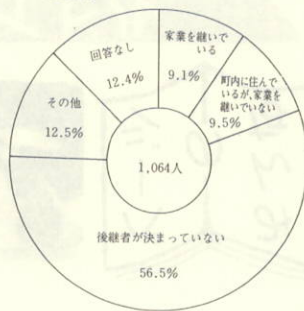


配布枚数 1,259枚
回収枚数 1,064枚
回収率 84.5%

回答者年齢別

20代	4.9%	50代	16.3%
30代	12.3%	60代	27.1%
40代	11.6%	70代以上	27.8%

*あなたの子供の将来についておたずねします。



瀬戸町老人クラブ連合会 ゲートボール親善大会

(関連記事6P)



楽しいながらも真剣



のこったのこった(VA大久)

瀬戸の若っかもん

—ヤングネットワークシリーズ— ⑮



坂本 俊彦 さん

住所 大久 生年月日 S40年11月10日
血液型 O型 星座 さそり座
職場 JA

- 趣味は 読書、ロールプレイングゲーム
- 好きな食べ物は お好み焼
- 理想の女性は 気配りのできる人
- 今夢中になっていること 最近、手に入れたパソコン
- 私の自慢だよ 自慢できることなど、とてとても
- わが町に一言! 若い人がのこのような環境づくりを
- をころがしてみて 少し自分の足元をみつめなおしてみたい



四ツ浜中学校三年生
谷本 美香 さん



ラムネ

プシューッとさわやかな音をたてて栓を抜き、ガラス玉をカラカラいわせながら飲むラムネ。第二次大戦前までは、サイダー、ところてん、氷水などと並ぶ、夏の代表的なし好品でした。その後、清涼飲料水が多様化し、ラムネは影を潜めましたが、最近のレトロブ

ームや地域おこしのイベントなどで目にふれる機会が増えました。ラムネは、レモネードという言葉が日本語化したものだとはいわれています。瓶の首に入っているビー玉と口のところのゴム輪とで気密を保つようになっていますが、これは、一八四三年にイギリスで発明されたものだとはいわれています。

ラムネの日本伝来については、一八六〇年ごろイギリス船が長崎に持ってきた水、人間にはほっとし息

ついてリフレッシュする時間が必要です。連続休暇の普及・拡大を目的に、六月八日に「ほっとウイーク」キャンペーンが行われます。あなたは、ちゃんと連続休暇をとっていますか。



初め書く時に、はねる所やとめる所が難しかったけど、がんばって書きました。

(5)

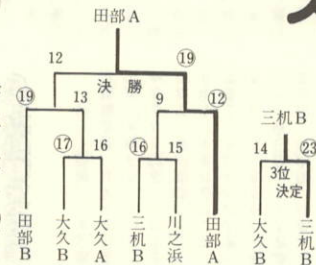
ホットなニュース

ふれあい通じて

瀬戸町老人クラブ連合会
ゲートボール親善大会

(大会結果)

- 1位 田部A
- 2位 田部B
- 3位 三机B



去る五月二十八日(木)、瀬戸野球場において、瀬戸町老人クラブ連合会ゲートボール親善大会が開催されました。

天気にも恵まれ、午前九時の開会式に引き続き、参加十五チームが試合を開始、予選を三つのリンク戦で行ない、上位二チームが決勝トーナメントに進みました。ポールの向かうお祈りの表情は真剣で、毎日の練習の成果がうかがえ、ポールの行方を追って迫熱。結果は、右図のとおりです。



ハツラツとしたプレー

老いも若きも汗かいて

去る五月二十四日晴天に恵まれ大久海岸において、VA大久が主催する海の集い(地曳網)が開催されました。

主催するVA大久は、今では地区の青壮年層の者、約六〇名が会員となり自主運営しています。VA (Village Active) は、村の活性といった意味でネーミングし、親と子のふれあいを、そしてコミュニケーションの場づくりとした目的で実施されています。年間の農作業で暇な時期五月を選び開催される様になって早や六年がたちます。当日、小学校の父兄参加も行ったため、親と子のふれあいを、親と子、地区住民、町外からの客を含め約四〇〇名が参加、中には大分県臼杵の小学校児童も参加し、老いも、若きも汗をかき、一生懸命網を引はっていました。

網が岸に近づくにつれ、だんだんと手に力が入り、歓声が上がります。今回は大漁とはいかなかったが、小鯛、大きないか、とびうお、あじ、等々さまざまな小魚が取れた様です。



みんなでヨイショと

(6)

保健センター

ヘルス・アイ



毎年、楽しみにしている健康回復者教室の遠足は、今年も農業公園のキユウリの初収穫にリハビリを兼ねて実施することになった。

ハウスの中なら天候の心配はしなくていいと安心はしたものの、やはり風車に行くのなら、晴れて眺めのよい日と思ったが、あい

「風車キユウリ」の収穫へ

にくの雨。まあ気をとり直し参加者でお弁当をつくり始める。おにぎりを作ったり卵をゆでたりし、お弁当ができあがる頃には雨もあがった。が、空を見上げる時と霧がみえる。さあ、農業公園へ出発。活性化センターで、みんなで作ったお弁当をほおぼる。マスコミ関係が取材にくるといいうので、キユウリの収穫へとハウスの中へ。三十度の熱気にも負けず、みんな楽しんでキユウリを取り始める。二十センチ程に育ったキユウリが、あつという間にかこ

旧四ツ浜地区健康ウォーク開催

五月三十一日(日)五月晴れのもと、手軽にできる健康づくりとして歩く習慣づくりの意識を高めてもらうと、約七kmの道のりを最年少は六カ月、最高令は七十九歳まで、申し込みより多い約百名で大久の景色を満喫した。大人の人は、参加記念品の万歩計を腰に大久港広場に着くときは、何千歩歩いているか、楽しみを一つふやし、出発となる。

その頃、町民センターでは、早朝から、おにぎり弁当を作ってくれている栄養推進協議会の十二名の方が最後の仕上げをしている。大久集会所を出発し、天理教会を通り、農道を歩きメロディラインへ目指す。夫婦仲むつまじく、子どもに連れられ、又家族全員で、女子青年団員も参加。少し坂道ではあるが、大久海岸が一望でき、絶好な眺めでおしゃべりもはずむ。野の花のみつを吸い、少し汗ばみ、何か喉をうるおすものがほしいと思う頃、メロディラインで栄養推進協議会の方による冷たい麦茶サービスとなる。「ア、おいしい。あともう少し、少し重たかった足取りも軽やかに、旧道一九七号線へとはいる。今度は少し下り坂。お腹の虫もグツツとなる。おにぎりの種類は何かなど考えつつ、先頭は約一時間半ほどで、港広場にお到着。引き替券と交換にお弁当を頂き、話はずむ。疲れた顔もチラホラ。さて万歩計は何歩になって



(7)

おしらせ版

社協だより

瀬戸町社会福祉協議会

現在、在宅でお年寄りを介護されている方は色々な悩みを抱えていることと思います。その在宅ケアを少しでも軽くするために在宅ケアの充実を図っております。申込は、瀬戸町社会福祉協議会まで!!

◎新規事業

(一)わたさきり老人を抱える家庭において、当該わたさきり老人の介護者が一時的に介護することが出来なくなった場合に、代替介護者を確保するため費用の一部を助成して介護者の支援をおこなうことにより始められた制度です。

適用範囲

「わたさきり老人」とは、おおよね六十五歳以上の者で

あつて、臥床していることにより常時の介護を必要とする者とする。

事業の適用要件

この事業は、わたさきり老人の介護者が次に掲げる理由により家庭を離れ、一時的にわたさきり老人の介護にあたれなくなった場合に、代替介護者を確保する必要が生じたときに適用する。

(一)家庭を離れる理由が次の場合のとき
疾病、出産、冠婚葬祭、事故、災害、出張、転勤、看護、公的行事参加等。
詳しくは、ご説明致しますので、どうぞお気軽にご相談下さい。

◎継続事業

(一)巡回入浴事業も、平成二年度よりスタートし本年度

お知らせ

次の方から指定預託の申し出がありました。

- (一)瀬戸町歌謡同好会(代表者 牧田美明氏)から、第二回瀬戸町歌謡祭福祉チャリティーショーに伴う義援金を瀬戸町社会福祉協議会の活動資金に役立てて欲しいと、金五〇六八一円
- 出演者の皆さんは、もちろんのこと、関係者の皆様ありがとうございました。
- (二)瀬戸町三机、大和田ミユキ様から亡夫「繁光氏」が生前にお世話になったお礼として、指定預託がありました。



年金コーナー

現況届は忘れずに!!

年金受給者は、年に一回受給権があるかどうかを証明する現況届を社会保険庁に提出することとなっております。

現況届を提出する誕生日の初めに受給権者が送付されますので、市町村長の証明を受け、その月の末日までに社会保険庁に送付して下さい。

ただし、年金が裁定されてから一年を経過していない方や年金の全部が支給停止されている方は現況届を提出する必要がありませんので、現況届の用紙は送付されません。

現況届の提出が遅れたり、出し忘れの場合は、年金の支払いを一時差し止められることとなりますので、遅れず、また忘れずに提出してください。

また差し止められた年金の支払いは、現況届が届いた時点で解除され、次の支払月にまとめて支払われることとなります。

人々のうごき
(5月末現在)

世帯数	1,249戸
人口	3,222人
男	1,476人
女	1,746人
本籍数	4,329戸
本籍人口	14,146人

広報に掲載不要な方は、届出時に申し出て下さい。

平成4年5月分



末長く
お幸せに



おくやみ



お誕生
おめでとう

地域づくり
コーナー

(財)電源地域振興センターから平成4年度研修会参加募集の連絡がありました。いずれも今後の地域振興を考えると有意義なものと思われまふ。「地域づくり、村おこし」に関心のある方で希望するテーマに参加希望がある場合は、役員会議まで御連絡下さい。本研修会は、定員となり次第締め切りとなりますので都合により参加できない場合があります。この点御了承下さい。又、海外研修への参加には前座として国内での研修が必要です。

No.3 電源地域の農業を軸とした地域づくりを学ぶ
No.17 海外の農業を軸とした農村づくりを見る
No.14 高齢者が暮らしやすいまちづくりを考える。



お礼

広報発送費用にと、ご寄付いただきました。紙上より厚くお礼申し上げます。大分市千代町四丁目三番二十五号

有限会社 清水ボア

代表取締役 清水愛文様

温泉郡直江町横河原

国立愛媛病院五病棟

加藤 フタ子 様

大分府松原市一津屋町五三

六 和田 直美 様

伊予郡松前町北黒田四九七

一 大西 幹男 様

編集後記

道路のあちこちに散乱している空き缶をよく見かけます。

一人一人が心がければ、散乱ゴミはなくなると思います。

六月は、環境月間です。私たちの住んでいる町を住みよい環境にしていきたいものです。